

令和2年度 赤穂市民病院改革プランの点検

【前提】「新公立病院改革ガイドライン」において、同ガイドラインを踏まえ策定した改革プランの実施状況の点検・評価・公表が定められている。

- ①点検：経営改善委員会において点検を行う。
- ②評価：経営改善委員会での点検後、「赤穂市民病院の医療を考える懇談会」に諮り、評価を受ける。
- ③公表：点検、評価の結果については、当院ホームページにおいて公表する。

【点検結果】コロナの影響が大きく医業収益が伸びず、総じて目標に達していなかった。

1 病床数

(単位：床)

項目	平成26・27年度	平成28・29年度	平成30年度～	令和元年(6/1～)度～	令和3年(5/25～)度～
許可病床数	396	396	396	360	360
高度急性期病床	4	63	67	67	67
HCU	4	4	8	8	8
循環器病床	0	59	59	59	59
急性期病床	388	270	266	230	177
回復期病床(地域包括ケア病棟)	0	59	59	59	59
感染症病床	4	4	4	4	4
コロナ病床	0	0	0	0	10
コロナ病床開設による休床	0	0	0	0	43

2 医療機能等指標に係る数値目標

項目	平成30年度			令和元年度			令和2年度				説明	参考
	計画①	実績②	差②-①	計画①	実績②	差②-①	計画①	実績②	差②-①	②/①		
入院患者数(1日当たり)												
一般病床 (人)	236.0	196.6	▲ 39.4	238.0	216.8	▲ 21.2	240.0	199.8	▲ 40.2	83.3%	コロナによる手術延期等	
地域包括ケア病床 (人)	50.0	36.6	▲ 13.4	50.0	37.0	▲ 13.0	50.0	41.2	▲ 8.8	82.4%	7対1患者減に伴い地ケア対象患者も減	
平均在院日数												
一般病床 (日)	11.0	12.0	1.0	11.0	12.0	1.0	11.0	12.3	1.3	111.8%		【施設基準】18日以内
地域包括ケア病床 (日)	20.0	22.0	2.0	20.0	21.3	1.3	20.0	26.2	6.2	131.0%		【施設基準】60日以内
外来患者数(1日当たり) (人)	785.0	685.5	▲ 99.5	785.0	701.9	▲ 83.1	785.0	626.5	▲ 158.5	79.8%	コロナによる受診控え	
紹介患者率 (%)	61.0	54.2	▲ 6.8	61.0	58.9	▲ 2.1	61.0	63.4	2.4	103.9%		
逆紹介患者率 (%)	97.0	97.6	0.6	97.0	97.0	0.0	97.0	129.2	32.2	133.2%		
手術件数 (件)	2,300	1,596	▲ 704.0	2,400	1,723	▲ 677.0	2,500	1,411	▲ 1,089.0	56.4%	コロナによる手術延期等	
救急患者受入人数 (人)	8,100	6,675	▲ 1,425.0	8,200	7,127	▲ 1,073.0	8,300	4,558	▲ 3,742.0	54.9%	コロナによる外出自粛等	

3 最重点としての取り組み

最重点としての取り組み項目	実施状況	令和2年度			
		改訂後の最重点としての取り組み項目	評価	説明	参考
病床数の適正化と7対1看護体制加算の取得	○	病床数の適正化と7対1看護体制加算の維持	○		
地域医療支援病院の取得	○	地域医療支援病院の維持	○		
呼吸器科、眼科医師の採用	△	呼吸器科、眼科、整形外科医師の採用	△	呼吸器科常勤医師を確保できず	眼科1名 整形外科4名
第二期構想の推進	○	第二期構想の推進	○		
医療材料費対医療収益比率の1%削減	○	医療材料費対医療収益比率の1%削減	○		
—	—	地域包括ケア病棟の維持	○		

4 基本的な取り組み(主なものを抜粋)

項目	細目	令和2年度		
		改訂後の基本的な取り組み項目	評価	参考
患者を主体とした病院づくり				
患者に信頼される診療体制	医師・看護師・医療技術員の確保	医師事務作業補助者の確保(待遇改善)	○	25対1(15人) 3500万円/年
患者に安心される療養環境	入院患者受入体制の整備	地域包括ケア病棟の維持	○	稼働率70% 4億6000万円/年
特色ある病院づくり				
地域関係機関との連携	紹介・逆紹介の推進	地域医療支援病院の維持	○	【基準】 紹介率50%→63.4% 逆紹介率70%→129.2% 5000万円/年
継続を前提とした安定経営の推進				
職員提案による経営改善	収益増収対策	救急搬送の積極的な受け入れ	○	R2.4新設:地域医療体制確保加算 (救急車受入件数:2000件/年)
	経費削減対策	入札等による電気料金の削減	○	1500万円/年(R1~R3)

5 経営指標に係る数値目標

項目	平成30年度			令和元年度			令和2年度					参考
	計画①	実績②	差②-①	計画①	実績②	差②-①	計画①	実績②	差②-①	②/①	説明	
経常収支比率 (%)	95.8	86.0	▲ 9.8	96.9	90.9	▲ 6.0	98.1	88.7	▲ 9.4	90.4%	収益減による影響大	
医業収支比率 (%)	97.3	86.6	▲ 10.7	98.9	92.0	▲ 6.9	100.5	89.7	▲ 10.8	89.3%	収益減による影響大	
職員給与費対医業収支比率 (%)	45.9	56.0	10.1	45.0	52.9	7.9	43.9	53.7	9.8	122.3%	収益減による影響大	
材料費対医業収支比率 (%)	28.1	24.7	▲ 3.4	28.1	24.2	▲ 3.9	28.1	25.1	▲ 3.0	89.3%		
病床稼働率												
一般病床 (%)	70.9	58.4	▲ 12.5	71.5	69.1	▲ 2.4	72.1	66.4	▲ 5.7	92.1%	コロナによる手術延期等	
地域包括ケア病床 (%)	84.7	62.0	▲ 22.7	84.7	68.3	▲ 16.4	84.7	69.8	▲ 14.9	82.4%	7対1患者減に伴い地ケア対象患者も減	
1人1日当たり入院収益												
一般病床 (円)	56,870	59,403	2,533	57,370	57,630	260	57,870	61,359	3,489	106.0%		
地域包括ケア病床 (円)	28,580	29,709	1,129	28,580	31,189	2,609	28,580	31,009	2,429	108.5%		
1人1日当たり外来収益 (円)	15,733	12,933	▲ 2,800	16,133	13,314	▲ 2,819	16,533	13,947	▲ 2,586	84.4%		
医師数 (人)	73	66	▲ 7	73	71	▲ 2	73	68	▲ 5	93.2%	常勤医師の退職(形成)及び、常勤医師の確保できず(呼吸器科、乳腺外科等)	
うち研修医師数 (人)	12	14	2	12	13	1	12	13	1	108.3%		
看護師 (人)	270	258	▲ 12	270	258	▲ 12	270	258	▲ 12	95.6%		

6 収支計画

(1) 収益的収支

(単位:千円)

項目	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	計画①	実績②	差②-①	計画①	実績②	差②-①	計画①	実績②	差②-①
1. 医業収益 a	8,889,332	7,234,549	▲ 1,654,783	9,065,981	7,619,423	▲ 1,446,558	9,213,194	7,570,555	▲ 1,642,639
(1) 診療収益	8,453,866	6,844,803	▲ 1,609,063	8,630,515	7,225,472	▲ 1,405,043	8,777,728	7,083,615	▲ 1,694,113
入院収益	5,420,367	4,659,958	▲ 760,409	5,520,400	4,963,754	▲ 556,646	5,590,997	4,940,914	▲ 650,083
外来収益	3,033,499	2,184,845	▲ 848,654	3,110,115	2,261,718	▲ 848,397	3,186,731	2,142,701	▲ 1,044,030
(2) その他医業収益	435,466	389,746	▲ 45,720	435,466	393,951	▲ 41,515	435,466	486,940	51,474
2. 医業外収益 b	454,193	485,493	31,300	440,767	480,567	39,800	427,386	491,412	64,026
(1) 一般会計負担金	315,860	355,026	39,166	305,034	341,685	36,651	292,653	346,975	54,322
(2) 国(県)補助金	21,507	8,486	▲ 13,021	21,507	4,697	▲ 16,810	21,507	3,697	▲ 17,810
(3) その他医業外収益	116,826	121,981	5,155	114,226	134,185	19,959	113,226	140,740	27,514
経常収益(a+b) (A)	9,343,525	7,720,042	▲ 1,623,483	9,506,748	8,099,990	▲ 1,406,758	9,640,580	8,061,967	▲ 1,578,613
1. 医業費用 c	9,138,290	8,353,100	▲ 785,190	9,170,151	8,282,540	▲ 887,611	9,163,583	8,438,574	▲ 725,009
(1) 給与費	4,081,784	4,049,082	▲ 32,702	4,078,379	4,034,223	▲ 44,156	4,042,254	4,061,648	19,394
(1) 材料費	2,493,900	1,784,924	▲ 708,976	2,543,900	1,845,547	▲ 698,353	2,585,900	1,902,237	▲ 683,663
(3) 経費	1,725,500	1,780,134	54,634	1,717,500	1,707,166	▲ 10,334	1,715,500	1,822,146	106,646
(4) 減価償却費	781,606	697,956	▲ 83,650	774,872	658,675	▲ 116,197	764,429	633,176	▲ 131,253
(5) その他	55,500	41,004	▲ 14,496	55,500	36,929	▲ 18,571	55,500	19,367	▲ 36,133
2. 医業外費用 d	617,331	623,284	5,953	638,253	626,527	▲ 11,726	664,129	655,394	▲ 8,735
(1) 支払利息	162,124	152,250	▲ 9,874	147,403	137,131	▲ 10,272	131,342	121,277	▲ 10,065
(2) その他	455,207	471,034	15,827	490,850	489,396	▲ 1,454	532,787	534,117	1,330
経常費用(c+d) (B)	9,755,621	8,976,384	▲ 779,237	9,808,404	8,909,067	▲ 899,337	9,827,712	9,093,968	▲ 733,744
医業損益 (a-c) (C)	▲ 248,958	▲ 1,118,551	▲ 869,593	▲ 104,170	▲ 663,117	▲ 558,947	49,611	▲ 868,019	▲ 917,630
経常損益 (A)-(B) (D)	▲ 412,096	▲ 1,256,342	▲ 844,246	▲ 301,656	▲ 809,077	▲ 507,421	▲ 187,132	▲ 1,032,001	▲ 844,869
特別損益									
1. 特別利益 (E)	1,500	1,341	▲ 159	1,500	1,453	▲ 47	1,500	165,859	164,359
2. 特別損失 (F)	11,000	3,411	▲ 7,589	11,000	4,576	▲ 6,424	11,000	168,999	157,999
特別損益 (E)-(F) (G)	▲ 9,500	▲ 2,070	7,430	▲ 9,500	▲ 3,123	6,377	▲ 9,500	▲ 3,140	6,360
純損益 (D)+(G)	▲ 421,596	▲ 1,258,412	▲ 836,816	▲ 311,156	▲ 812,200	▲ 501,044	▲ 196,632	▲ 1,035,141	▲ 838,509
累積欠損金	▲ 3,214,455	▲ 4,927,980	▲ 1,713,525	▲ 3,525,611	▲ 5,740,179	▲ 2,214,568	▲ 3,722,243	▲ 6,775,320	▲ 3,053,077

(2) 資本的収支

項目	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	計画①	実績②	差②-①	計画①	実績②	差②-①	計画①	実績②	差②-①
1. 企業債	400,000	147,300	▲ 252,700	358,000	199,300	▲ 158,700	401,200	232,900	▲ 168,300
2. 一般会計出資金	558,775	488,010	▲ 70,765	603,937	527,376	▲ 76,561	632,999	532,606	▲ 100,393
3. 国(県)補助金							0	36,199	36,199
4. その他	500	56,626	56,126	500	410,176	409,676	500	16,637	16,137
収入計 (A)	959,275	691,936	▲ 267,339	962,437	1,136,852	174,415	1,034,699	818,342	▲ 216,357
1. 建設改良費	443,948	166,124	▲ 277,824	281,000	147,030	▲ 133,970	281,000	141,106	▲ 139,894
2. 企業債償還金	1,014,016	1,007,424	▲ 6,592	1,207,207	1,202,615	▲ 4,592	1,303,260	1,255,492	▲ 47,768
3. その他	58,640	40,081	▲ 18,559	64,400	29,644	▲ 34,756	69,200	22,529	▲ 46,671
支出計 (B)	1,516,604	1,213,629	▲ 302,975	1,552,607	1,379,289	▲ 173,318	1,653,460	1,419,127	▲ 234,333
差引不足額 (A)-(B)	▲ 557,329	▲ 521,693	35,636	▲ 590,170	▲ 242,437	347,733	▲ 618,761	▲ 600,785	17,976

7 一時借入金

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一時借入金	850,000	1,100,000	2,000,000

○一時借入金限度額が30億円へ変更

8 資金不足比率(地財法:10%)

(単位:%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資金不足比率	-	1.8	11.2

○10%を超過すると、
→企業債の発行が協議制から許可制へ移行
→資金不足解消計画の策定が必要

9 資本・累積欠損

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
増減関係	資本>累積欠損	資本>累積欠損	資本>累積欠損
資本①	6,555,901	7,081,494	7,612,310
累積欠損②	4,927,979	5,740,179	6,775,320
差(①-②)	1,627,922	1,341,315	836,990

○資本が累積欠損より大きければ相殺をもって解消が可能
○累積欠損が資本を上回れば差額の現金が必要となる